

KENWOOD

CD レシーバー

RDT-121

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	9

ここを読めば、ひとつおりの操作ができます。

Basic Operation	10
共通操作	10
ラジオを聴く	12
CDを聴く	13

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Radio Listening	14
オートメモリー	14
マニュアルメモリー	14
チューニングモード	15
モノラルモード	15

Music Disc Listening	16
ランダムプレイ	16
スキャンプレイ	16
リピートプレイ	16

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Audio Control	17
ボリュームオフセット	17
スピーカー設定	17
バスブースト	18

Display Control	19
時計表示	19
操作パネルの取り外し	19
操作パネルの取り付け	19

Menu	20
メニュー設定	20
時刻合わせ	21

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help?	22
Troubleshooting	22
Term	22
Error	23

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い

Basic Operation

Radio Listening

Music Disc Listening
Audio Control

Display Control

Menu

Help?

取り付け時のご注意
接続
取り付け

取り付け時のご注意	24
接続	26
取り付け	28

保証とアフターサービス	29
仕様一覧	30

本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



上へ

下へ



左へ

右へ

ボリュームノブを回す



- ▼ : 次の段に続きます。
- : ここで終わります。

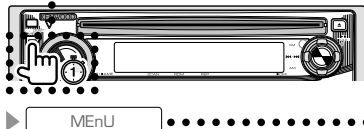
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

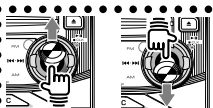
1 ソースを切り替えます



2 メニューモードにします

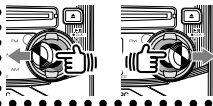


3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します




- ページ数が表記されている項目の設定方法は、そのページを参照してください。


表示	設定	設定概要	ソース
BEEP	On*/OFF	操作音の有無を設定します。	SB
CLCK	p21参照	時刻を設定します。	SB
DSI	On*/OFF	操盗難防止用警告ランプのオン/オフ設定をします。	SB
AUTO/ AUTO/ MANU	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL	操放送局の選択方法を設定します。	Tuner
Mono	OFF*/On	操モノラル音声で受信します。	FM

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

短く押す

で示したキーまたはノブを押す。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
左記では1秒間押すことを示しています。
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



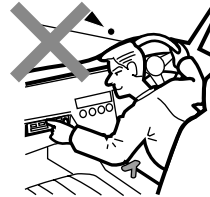
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

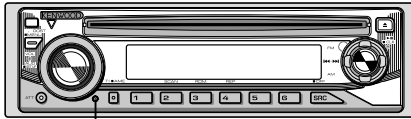


実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、「Troubleshooting」(p22) および「Error」(p23) を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーソースにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

メディアの取り扱い

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)

●
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

●
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

●
ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

●
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

●
本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

●
下側に強く押しながらかき出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

●
新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

●
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。


●
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



●
記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

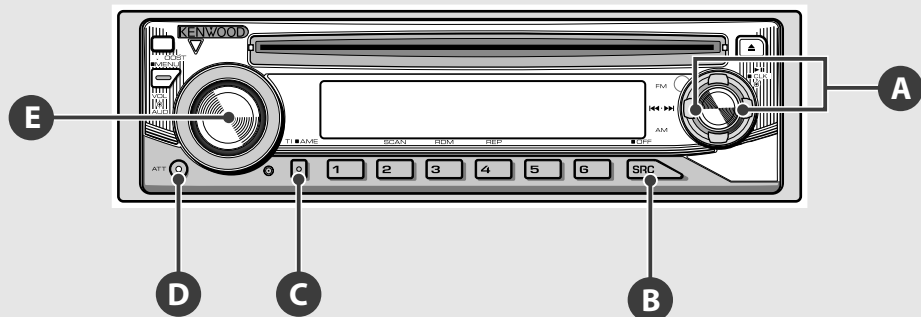
●
 マークの付いていないCDは使用しないでください。

●
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

Basic Operation

共通操作



B

電源をオン/オフします

押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

D

音量を素早く下げます

押すと、音量が小さくなります（アッテネーター）。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

E

音量を調整します



- アッテネーターの動作中には IATTI インジケーターが点滅します。

C

交通情報を聴きます

押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **A** を左右に動かすと、交通情報の周波数 (522kHz/1620kHz/1629kHz) を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中に **E** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

時計の調整について

時計の調整はメニューで行います。詳しくは「メニュー設定」(p20) をご覧ください。



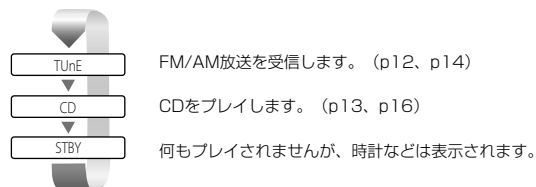
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

B

ソースを切り替えます

押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。

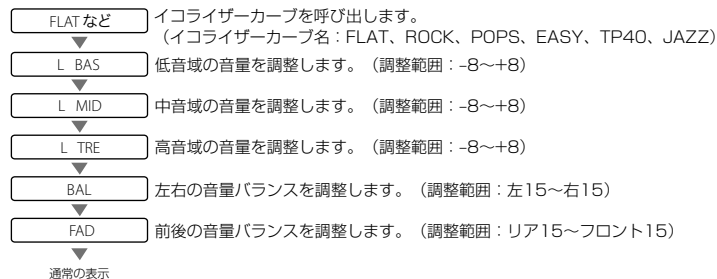


- ディスクが挿入されていないときは、CDソースは飛ばされます。
- ディスクを挿入すると、挿入したディスクがプレイされます。

E

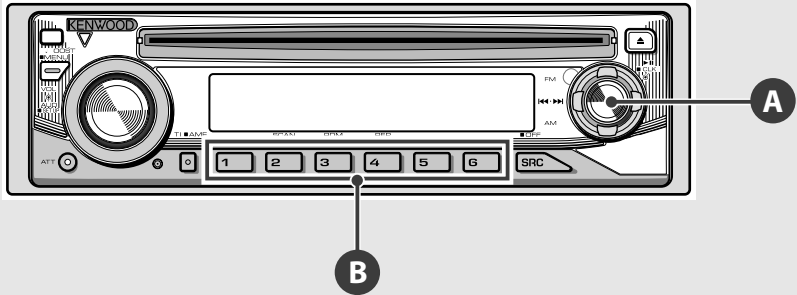
音質などを調整します

ノブを押して調整項目を選び、次にノブを左右に回して調整します。調整項目は次の順に切り替わります。



- イコライザーカーブ、低音、中音、高音は、ソースごとに設定できます。
- イコライザーカーブの値は、「スピーカー設定」(p17)の設定により変わります。先に「スピーカー設定」(p17)の設定を行ってください。
- 「L BAS」、 「L MID」、 「L TRE」を調整するとその値が設定され、イコライザーカーブに「USER」と表示されます。
- イコライザーカーブの設定をすると、「L BAS」、 「L MID」、および「L TRE」は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。

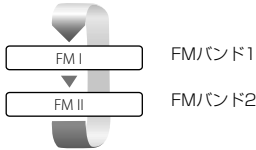
ラジオを聴く



A

バンドを切り替えます

コントロールノブAを上動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブAを下動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は ●ST● インジケーターが点灯します。
- その他のいろいろなチューニング方法については、「Radio Listening」(p14)をご覧ください。

A

放送局を選択します。

コントロールノブAを左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



- チューニングモードによって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」(p15)をご覧ください。

B

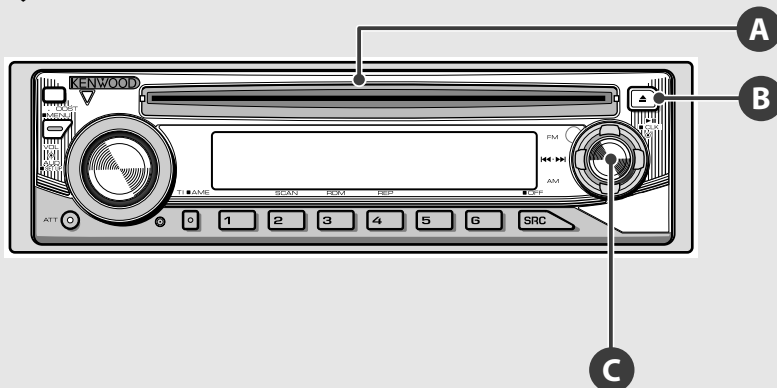
プリセット局を受信します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。



- Bでのプリセットチューニングは、あらかじめ各ボタンに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p14)または「マニュアルメモリー」(p14)をご覧ください。

CDを聴く



A B

CDをプレイします

ディスク挿入口Aにディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

ディスクを取り出します

イジェクトボタンCを押します。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- ディスクが入っているときには ●IN● インジケーターが点灯します。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「Music Disc Listening」(p16)をご覧ください。

C

プレイ/ポーズします

コントロールノブCを一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

C

早送り/早戻しします

コントロールノブCを右に押し続けると、押している間、曲が早送りされます。また、コントロールノブCを左に押し続けると、押している間、早戻しされます。

C

プレイする曲を選びます

コントロールノブCを右に動かすと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブCを左に動かすと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

Radio Listening

FM/AM 放送を受信します。また、各バンドごとに 6 局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

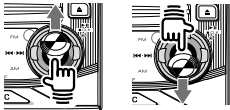


- 基本的な FM/AM 放送の聴きかたは「ラジオを聴く」(p12) をご覧ください。

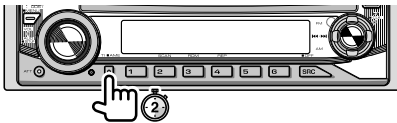
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーを開始します



▶ Ach

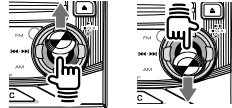


- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

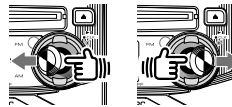
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

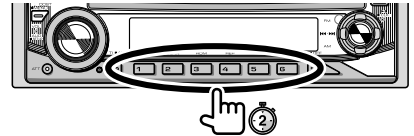
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするキー (1~6のいずれか) を選びます

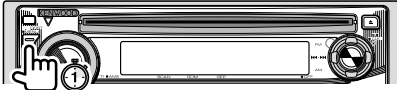


▶ FMI 3ch 82.5

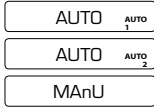
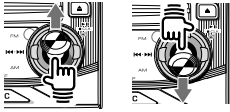
チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。

1 メニューモードにします



2 チューニングモードの項目を選択します



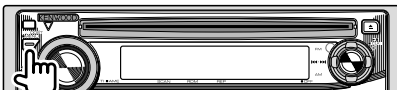
3 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	設定内容
AUTO <small>AUTO 1</small>	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
AUTO <small>AUTO 2</small>	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
MAnU	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

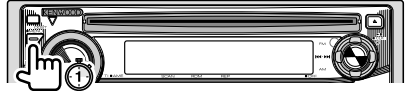
4 メニューモードを終了します



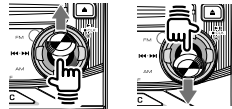
モノラルモード (FM放送受信時のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

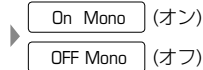
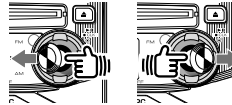
1 メニューモードにします



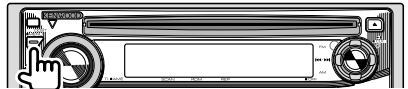
2 モノラルモードの項目を選択します



3 モノラルモードをオン/オフします



4 メニューモードを終了します



Music Disc Listening

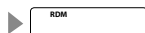
CD を本機でいろいろな機能を使ってプレイできます。



- CD の基本的な聴きかたは「CD を聴く」(p13) をご覧ください。

ランダムプレイ

プレイ中のCDの曲をランダムな順でプレイします。



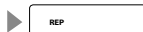
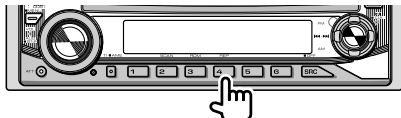
押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

リピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。

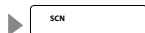


押すたびに、リピートプレイがオン/オフされます。

スキャンプレイ

ディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところ...



スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



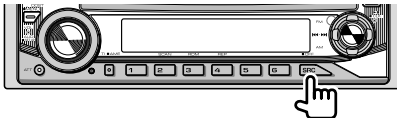
- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

音響効果などを設定します。

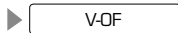
ボリュームオフセット

各ソースごとの音量の差を設定して、すべてのソースで同じ音量で聴けるように設定します。

1 設定したいソースにします



2 ボリュームオフセットを開始します



3 設定します



設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
V-OF	-8 ~ 0

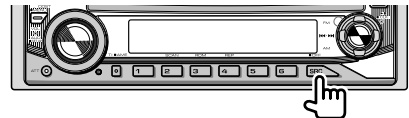
4 ボリュームオフセットを終了します



スピーカー設定

イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

1 STANDBYモードにします



2 スピーカーマッチングモードにします



3 スピーカーを選択します



回すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定内容
SP-1	標準的なスピーカーに合う設定。
SP-2	低音域のあまり出ない 小型のスピーカーに合う設定。
SP-3	低音域のよく出る 大型のスピーカーに合う設定。
SP-4	周波数帯域が狭い スピーカーに合う設定。

4 スピーカーマッチングモードを終了します



バスブースト

低音の増強をします。



押すたびに、次の順で切り替わります。

表示	設定
L1 BB-L	バスブースト1 (初期設定)
L2 BB-L	バスブースト2
OFF BB-L	バスブーストオフ

設定を切り替え、お好みの音の設定にしてください。

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

時計表示

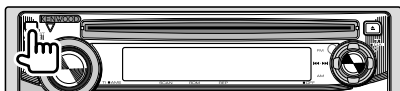
ディスプレイに時計を表示します。



1秒以上押すたびに、時計表示がオン/オフします。

操作パネルの取り外し

操作パネルを取り外します。

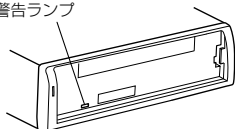


パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。



- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「メニュー設定」(p20)の「DSI」項目を「On」にしておくとパネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

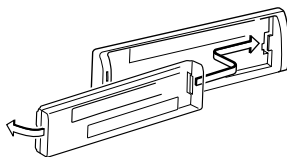
盗難防止用警告ランプ



操作パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。
パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

Menu

各種の機能を設定します。

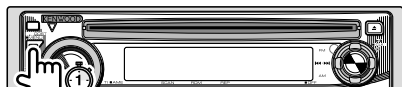
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます

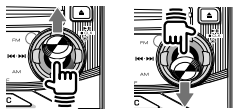


2 メニューモードにします



MEnU

3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します



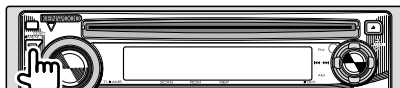
- ページ数が表記されている項目の設定方法は、そのページを参照してください。

表示	設定	設定概要	ソース
BEEP	On*/OFF	操作音の有無を設定します。	SB
CLCK	p21参照	時刻を設定します。	SB
DSI	On*/OFF	盗難防止用警告ランプのオン/オフ設定をします。	SB
AUTO/ AUTO/ MAnU	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL	放送局の選択方法を設定します。(p15参照)	Tuner
Mono	OFF*/On	モノラル音声で受信します。(p15参照)	FM

* お買い上げ時の設定状態を示します。

- SB** : スタンバイ中に設定できます。
- Tuner** : Tunerソース中に設定できます。
- FM** : FMを受信中に設定できます。

5 メニューモードを終了します

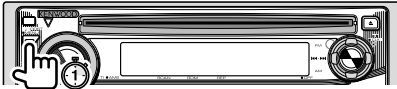


- 各項目の詳細は「Term」(p22)をご覧ください。

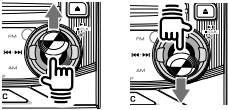
時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

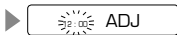
1 メニューモードにします



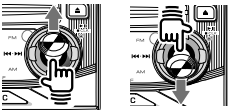
2 時刻合わせの項目を選択します



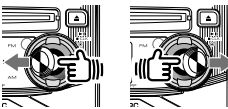
3 時刻合わせを開始します



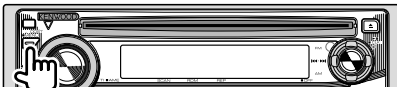
4 “時”を調整します



5 “分”を調整します



6 時刻合わせを終了します



- 時刻合わせは、スタンバイ中に行えます。基本的なメニューモードの操作方法は「メニュー設定」(p20)をご覧ください。
- “分”を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

Troubleshooting

? 操作スイッチを押しても動作しない

- ✓ システムに異常が発生している。
- ➡ リセットボタンを押してください(p8)。

? チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ➡ アンテナを十分に伸ばしてください。

- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ➡ 「接続」(p26)を参照して正しく接続し直してください。

? ディスクが取り出せない

- ✓ ディスクが排出の途中で止まっている。
- ➡ ディスクが完全に排出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

? CDをプレイできない

- ✓ ディスクが異常に汚れている。
- ➡ 「メディアの取り扱い」(p9)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

Term

AUTO1/AUTO2/MANUAL

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

BEEP (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

DSI (ディセーブルシステムインジケータ)

セキュリティインジケータをオン/オフします。

この機能をオンにしておくと、パネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

Mono (モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

V-OF (ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“V-OF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

Error

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

E-04 :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

DCER:

スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働いている。

- ➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。
なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

E-99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

●IN● インジケーターが点滅 :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

- ➡ ディスクを取り出してから、ディスクを入れなおしてください。

取り付け時のご注意

警告



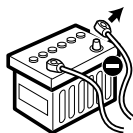
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



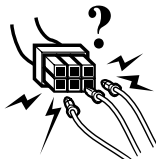
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



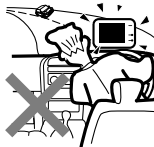
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

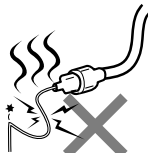
本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続



実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

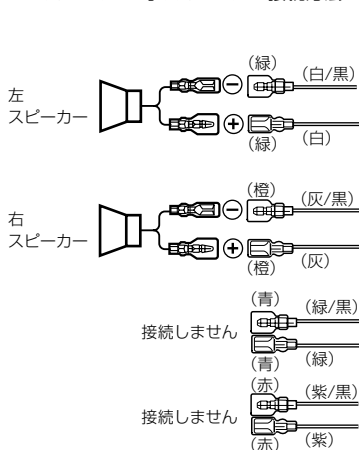
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの ⊖ 端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。



注意

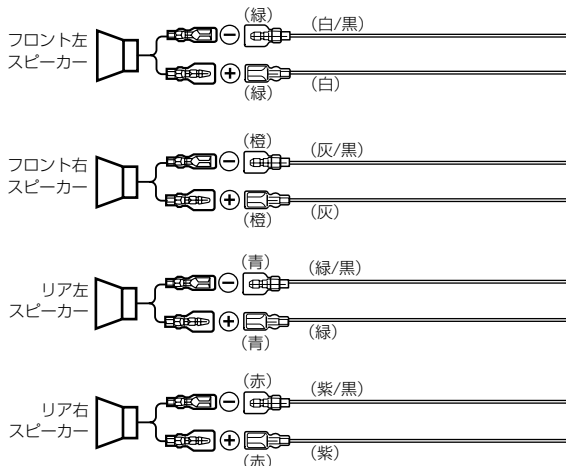
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



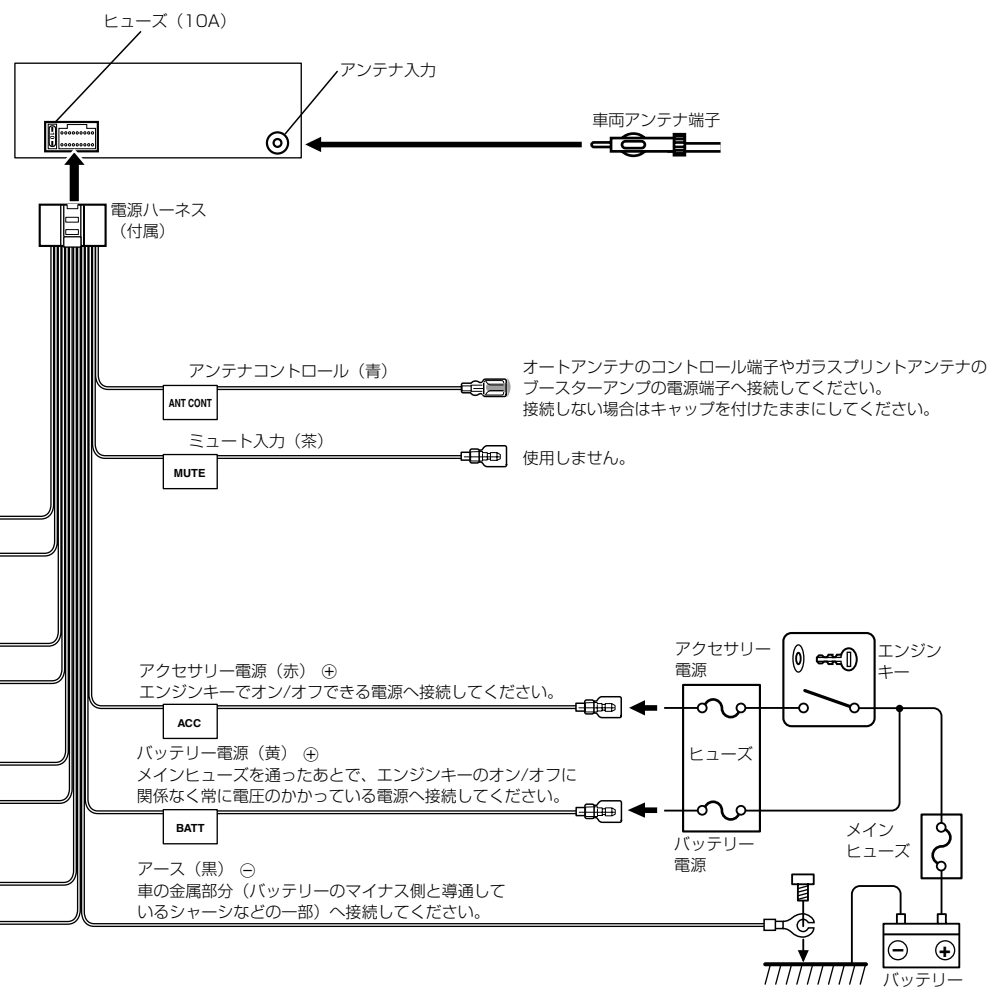
注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。






注意

- スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。



取り付け

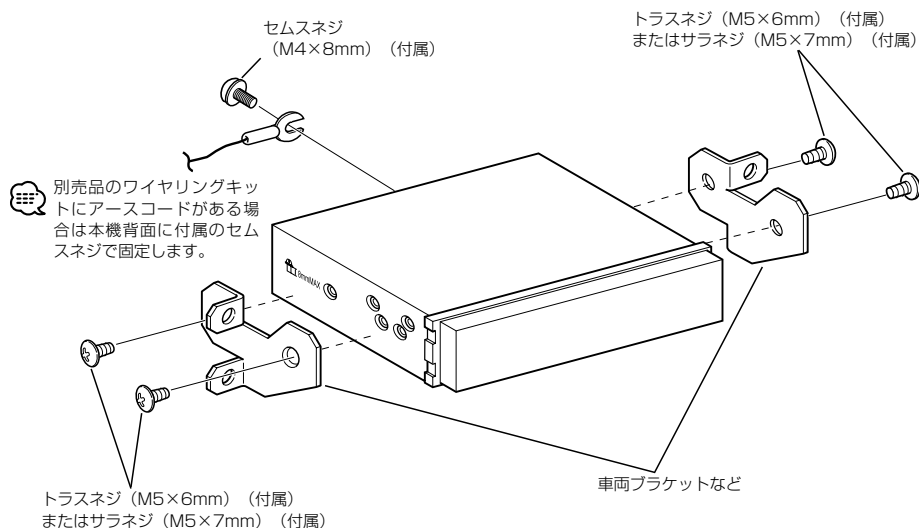
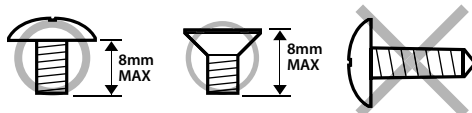
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 4 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
 サラネジ (M5 × 7 mm)	4
 セムスネジ (M4 × 8 mm)	1



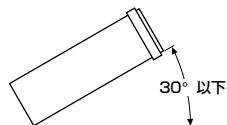
注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



注意

- 本機の取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け / 取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
- 実用感度 (S/N : 30 dB)
: 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
- S/N 50 dB感度
: 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
- 周波数特性 (\pm 3.0 dB)
: 30 Hz ~ 15 kHz
- S/N比
: 70 dB (MONO)
- 選択度 (\pm 400 kHz)
: 80 dB 以上
- ステレオセパレーション
: 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
- 感度
: 28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

- レーザーダイオード
: GaAlAs
- デジタルフィルタ (D/A)
: 8 倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター
: 1Bit
- 回転数
: 500 ~ 200 rpm (線速度一定)
- ワウ& フラッター
: 測定限界以下
- 周波数特性
: 10 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
- 高調波歪率
: 0.01 % (1 kHz)
- S/N比
: 93 dB (1 kHz)
- ダイナミックレンジ
: 93 dB

オーディオ部

最大出力

: 45 W × 4

定格出力

: 28 W × 4 (4 Ω、1 kHz、10%THD 以下)

スピーカーインピーダンス

: 4 ~ 8 Ω

オーディオコントロール

バス: 100 Hz ± 8 dB

ミドル: 1 kHz ± 8 dB

トレブル: 10 kHz ± 8 dB

付属部品

電源ハーネス

: 1 本

トラスネジ (M5 × 6 mm)

: 4 本

サラネジ (M5 × 7 mm)

: 4 本

セムスネジ (M4 × 8 mm)

: 1 本

電源部

電源電圧

: 14.4 V (11 ~ 16 V)

最大消費電流

: 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W × H × D)

: 178 × 50 × 160 mm

質量 (重さ)

: 1.2 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。